

2020年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月2日

上場会社名 J-ピープル
 コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 真人
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子
 四半期報告書提出予定日 2019年9月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3862-2768

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年1月期第2四半期の連結業績(2019年1月21日～2019年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	1,667	△1.9	77	△22.6	74	△23.9	47	△22.6
2019年1月期第2四半期	1,699	—	100	—	97	—	61	—

(注) 包括利益 2020年1月期第2四半期 59百万円 (△17.5%) 2019年1月期第2四半期 71百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	10.86	—
2019年1月期第2四半期	14.03	—

(注) 2018年1月期(期末)より連結財務諸表を作成しているため、2019年1月期第2四半期の対前年増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第2四半期	2,240	1,865	83.3
2019年1月期	2,451	2,078	84.8

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 1,865百万円 2019年1月期 2,078百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2020年1月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2019年1月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	0.00	—	62.00	62.00
2020年1月期	—	0.00			

(注) 2020年1月期期末配当につきましては、通期連結業績見通しと連動し、年末商戦状況を見極めた上で勘案し発表させていただきます。

3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年1月21日～2020年1月20日)

2020年1月期 第3四半期累計期間の連結業績予想(2019年1月21日～2019年10月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	2,744	△4.8	198	△19.9	191	△19.9	126	△19.9	28.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の通期の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、本来第3四半期累計期間とともに通期の業績予想を掲げるべきところ、直近で見通せる第3四半期累計期間の予想のみを掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期2Q	4,437,500 株	2019年1月期	4,437,500 株
② 期末自己株式数	2020年1月期2Q	63,253 株	2019年1月期	63,253 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期2Q	4,374,247 株	2019年1月期2Q	4,374,248 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
【第2四半期連結累計期間】	5
四半期連結包括利益計算書	
【第2四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8
カテゴリ別販売の状況	8
①第2四半期累計期間売上高	8
②新発売商品及び主なりニューアル商品	8

【添付資料】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	第1四半期会計期間（2～4月度）		第2四半期会計期間（5～7月度）		第2四半期累計期間（上半期）	
	（2019年1月21日 ～2019年4月20日）		（2019年4月21日 ～2019年7月20日）		（2019年1月21日 ～2019年7月20日）	
	金額	対前年同期間比	金額	対前年同期間比	金額	対前年同期間比
売上高	770百万円	18.1% 減	896百万円	18.3% 増	1,667百万円	1.9% 減
営業利益	36百万円	66.3% 減	42百万円	-（前年△7百万円）	77百万円	22.6% 減
経常利益	36百万円	66.1% 減	39百万円	-（前年△8百万円）	74百万円	23.9% 減
親会社株主に帰属する四半期純利益	23百万円	67.5% 減	26百万円	-（前年△7百万円）	47百万円	22.6% 減

当43期の第2四半期では、改元に伴う大型連休等の影響で個人消費が伸びた一方、米中貿易摩擦による低迷で企業の業績悪化の発表（4～6月期）等が相次ぐ等、国内の景気全般は一層不透明感を深めています。

当社の第2四半期間では、主に海外販売が前年同期の実績を大きく上回り全体の売上を牽引しました。国内市場においても、自転車の好調が当第2四半期まで続き玩具市場の厳しい商況からの下振れを補い推移した為、国内外合わせた当第2四半期会計期間の売上高は8億96百万円、前年同期対比18.3%増収となりました。当43期第2四半期累計期間の総売上高では16億67百万円、前年同期対比1.9%減まで第1四半期の減収幅を縮めました。

玩具市場全般にはGW商戦以降厳しい商況が続いていましたが、7月中旬頃になると夏休み商戦で上昇基調も見られ、手堅い売上を獲得する傾向として当社の知育・乳児カテゴリー等の既存定番品を中心にお盆商戦前の出荷増につながりました。又、同カテゴリーでは比較的安定した構成玩具市場において、6月度に「ピタゴラス」シリーズの4品一斉リニューアル発売を行いブランド刷新キャンペーンを開始し、お子様の年齢や能力に合わせ、選びやすく工夫したパッケージ、コンテンツを新たに、専用テーブル等を施した新しい売り場展開が広がっています。又、同構成玩具では、全く新しいポジションで新たなシェア獲得を試みる「JOIZ(ジョイズ)」を2種7月度に同時発売しました。形と動きでお子様の想像力を刺激する世界初の円形ブロックです。

女兒玩具では、低単価コレクタブルトイの流行が影響し、抱き人形やメイキングホビー等は低迷していますが、当社では、当第2四半期の6月度を期限に流通在庫の既存ぼぼちゃんの交換キャンペーンを行い、新しいお顔のぼぼちゃんが全国的に売り場に並び、7月度発売新製品を合わせて年末需要に向けた準備を整えています。同様に年末に盛り上がる根強い人気の「DIYトイ ねじハピ」シリーズでは、新しいDIYツール「ペイントスタイル」(3,680円・税抜)やユニセックスで楽しめる「エンジニアスタイル」(3,980円・税抜)を投入して新たなニーズの掘り起こしに挑戦しています。

育児用品では、第1四半期で「ディハグ ママスイング+(プラス)」(オープン価格)を発売後に、ディハグシリーズの急激な需要拡大に供給が間に合わず欠品し、7月度の入荷で一部注文残が解消される等していますが、品薄状態が続いています。

自転車カテゴリーは前年には無かった「ケッターサイクル」(各種・オープン価格)の好調が牽引し、当第2四半期累計期間の売上増に寄与しました。

海外販売では当第2四半期から米国向け「Magna-Tiles」の既存品の本格出荷を開始した事に加え、遊びの幅を広げる新製品「METROPOLIS」(小売価格 US\$130)等の高額品のまとまった出荷が前年度に無い商品として売上増となっている他、中国向けにおいても「やりたい放題ビッグ版」や「お水の知育」等の前年に無い出荷増等も貢献しています。

以上のように第1四半期の減収を第2四半期間で補いながら、第2四半期期間累計の営業利益は77百万円 前年同期対比22.6%減、経常利益は74百万円 前年同期対比23.9%減、純利益は47百万円 前年同期対比22.6%減と、第1四半期の減益幅を縮めて推移しています。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末から2億12百万円減少の22億40百万円となりました。資産の部では、主に配当金及び法人税等の支払による現金及び預金の減少等で、流動資産が前連結会計年度末から2億48百万円減少しました。

負債では、流動負債で主に未払法人税等の減少の一方、次月度決済予定の買掛金計上を含めた結果、負債合計は前連結会計年度末並みの3億75百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上の一方、配当支払等により、前連結会計年度末より2億13百万円減少して18億65百万円となり、結果、自己資本比率は83.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より2億57百万円減少し12億93百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上の他、主に売上債権の減少、当四半期末入荷に伴うたな卸資産の増加等の結果、66百万円の収入となりました。(前年同期間は2億66百万円の収入)

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得により52百万円の支出となりました。(前年同期間は25百万円の支出)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により2億71百万円の支出となりました。(前年同期間は2億82百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(次期第3四半期連結累計期間業績予測)

第3四半期の国内販売では、成長路線であった自転車のケッターサイクルが前年同期間に発売が重なる為、トレンドがシフトする事や、玩具部門では、依然厳しい幼児玩具等の市場全体の著しい回復が見込みにくい事、又、海外販売においては、US\$の為替レートは前年に比べ円高に見込まざるを得ない事や、販売国現地の販売は良好ながら日韓問題等が実取引に影響する見込みや、米中貿易摩擦等による米国関税対象品目に玩具がリストアップされて明確になったため受注出荷に影響する恐れもあります。それらを勘案し、第3四半期累計期間段階でも国内外両部門において各々4~6ポイント程前年に届かない見通しがあり、第2四半期で一歩回復はすすんだものの、次期第3四半期では再び売上の回復が足踏みする厳しい予想をしています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,551,059	1,293,907
受取手形及び売掛金	360,899	271,248
商品	283,231	345,507
原材料	645	2,508
その他	52,077	86,605
貸倒引当金	△684	△512
流動資産合計	2,247,227	1,999,263
固定資産		
有形固定資産	45,113	70,307
無形固定資産		
その他	983	1,779
無形固定資産合計	983	1,779
投資その他の資産	158,079	168,390
固定資産合計	204,174	240,476
資産合計	2,451,402	2,239,739
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,847	191,095
未払法人税等	120,502	21,726
その他	107,224	153,682
流動負債合計	373,574	366,503
固定負債		
繰延税金負債	-	8,319
固定負債合計	-	8,319
負債合計	373,574	374,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,664,271	1,440,281
自己株式	△34,233	△34,233
株主資本合計	2,031,543	1,807,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,553	55,214
為替換算調整勘定	1,732	2,151
その他の包括利益累計額合計	46,285	57,364
純資産合計	2,077,828	1,864,918
負債純資産合計	2,451,402	2,239,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月21日 至 2018年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年7月20日)
売上高	1,698,693	1,666,604
売上原価	1,027,779	1,022,709
売上総利益	670,914	643,895
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	92,023	74,802
販売促進費	68,850	61,793
運賃	67,936	74,944
役員報酬	37,154	32,903
給料及び手当	84,080	88,763
退職給付費用	-	6,494
支払手数料	44,684	49,794
研究開発費	79,034	81,330
その他	97,230	95,716
販売費及び一般管理費合計	570,990	566,538
営業利益	99,924	77,357
営業外収益		
受取利息	58	57
受取配当金	1,732	1,981
その他	69	99
営業外収益合計	1,859	2,137
営業外費用		
為替差損	4,795	5,733
その他	0	0
営業外費用合計	4,795	5,733
経常利益	96,988	73,761
税金等調整前四半期純利益	96,988	73,761
法人税、住民税及び事業税	25,778	17,678
法人税等調整額	9,853	8,594
法人税等合計	35,631	26,272
四半期純利益	61,357	47,489
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,357	47,489

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月21日 至 2018年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年7月20日)
四半期純利益	61,357	47,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,470	10,661
為替換算調整勘定	163	419
その他の包括利益合計	9,633	11,080
四半期包括利益	70,990	58,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,990	58,569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月21日 至 2018年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年7月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96,988	73,761
減価償却費	17,658	23,560
売上債権の増減額 (△は増加)	204,578	89,651
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,943	△64,139
仕入債務の増減額 (△は減少)	100,064	45,248
その他	△21,952	9,658
小計	371,394	177,740
利息及び配当金の受取額	1,790	2,038
法人税等の支払額	△107,589	△113,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	265,595	66,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,807	△51,838
無形固定資産の取得による支出	-	△650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,807	△52,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△282,075	△271,332
その他	75	294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,000	△271,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	308	410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,904	△256,858
現金及び現金同等物の期首残高	1,524,600	1,550,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,483,696	1,293,496

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(追加情報)
(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

カテゴリ別販売の状況

①第2四半期累計期間(個別)売上高の前年同期間対比 (単位 千円)

カテゴリー名	2019年1月期 第2四半期 (自2018年1月21日 至2018年7月20日)	2020年1月期 第2四半期 (自2019年1月21日 至2019年7月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	587,325	559,484	95.3
女兒玩具	184,701	136,740	74.0
遊具・乗り物	188,379	251,313	133.4
その他・海外販売	737,159	714,574	96.9
合計	1,697,564	1,662,111	97.9

注) 上記表の数値は、前第2四半期および当第2四半期ともに個別業績の売上高を記載しております。

②新発売商品及び主なりリニューアル商品

カテゴリー名	2020年1月期 第1四半期		2020年1月期 第2四半期	
	商品名	標準小売価格 (税別)	商品名	格 (税別)
乳児・知育玩具	「やりたい放題セレクト」(リニューアル)	¥3,480	「JOIZベーシック」	¥5,000
	ピタゴラスシリーズ「小学生ピタゴラス」3種	各¥3,480	「JOIZファースト」	¥3,000
	ノンキャラ良品シリーズ「なめられ太郎4代目」他、計5種	¥550~¥880	指先の知育「探求心刺激ドア」	¥1,380
	「お水の知育(エンドレス循環式)」	¥3,780	ピタゴラスBASIC「これな〜んだ」	¥4,600
	「うちの赤ちゃん世界一 全身を刺激セルフメリー」	¥1,980	ピタゴラスWORLD「へんしんロードガレージ」	¥5,800
女兒玩具	「5種の知脳ボタンで脳が育つ!知脳リモコン」	¥1,700	ピタゴラスWORLD「ゆめみるキャッスルハウス」	¥5,800
			ピタゴラスWORLD「アスレチックパーク」	¥6,600
	お人形「あたしのかわいい妹ぼぼちゃん リンクコーデアクセつき」	¥4,580	お人形「お風呂もいっしょよぼぼちゃん」	¥2,980
	お人形「あたしがママよ赤ちゃんぼぼちゃんお世話お道具つき」	¥5,000	お人形「ロングヘアぼぼちゃん ミニヘアコーム&ヘッドコームつき」	¥4,780
	「ぼぼちゃんのおしゃべり弁当」	¥1,980	着せ替え「おやすみパジャマセット」	¥1,580
遊具・乗り物	「ぼぼちゃんのごくごくペットボトルぶどう」	¥780	着せ替え「お姉さんパンツ2枚セット」	¥780
	「ぼぼちゃんのランドリールーム」	¥3,480	着せ替え「ゆめかわワンピ」	¥1,480
			「ねじハピ ペイントスタイル」	¥3,680
			「ねじハピ エンジニアスタイル」	¥3,980
			「いきなり自転車16インチ」2色	オープン価格
その他			「共伸びサイクル16インチ」2色	オープン価格
	「テディハグ ママスイング+」	オープン価格	「くにキャラアドベンチャー」	¥3,280
	「Bebe Pocket Plus」2色	各¥4,000		
	「1歳には知育クレヨン」	¥1,680		